

堀内議員

現在、牟岐町では集落支援員制度の活用はありませんが、それはなぜなのか疑問です。人口・世帯数の動向、通院、買い物、共同作業の状況、農地の状況、地域資源、集落外との人の交流、U・I・ターン、他集落との連携の状況など、多様な活用方法があるこの制度を使わないのは勿体ないはずです。今後の活用はあるのか、検討中の場合は、いつまでに活用を開始する予定なのか。

堀内議員**ホームページ充実を**

福井町長

集落支援員制度については、確かに理解が足りず十分活用できていないと思います。地域おこし協力隊は、平成24年から採用を検討していましたが、実効性や特別交付税措置であることの不安から、平成26年からの雇用となりました。平成23、24年は国の経済対策としての緊急雇用制度があり、後で何割戻つてくるか分からぬ特別交付税制度は敬遠した経緯があります。しか

牟岐町のホームページ(HP)を見ると、リンク先の存在しないものやリンク切れのものがいくつか目にできます。例えば、「南阿波サンマラソン牟岐ハーフ中止のお知らせ」「牟岐町漁業協同組合」「子育て教育内の保育について」などですが、いつからこのような状態なのか。また、ふるさと納税の説明ページでも、「一万円以上ご寄附いただけた方には、感謝の気持ちとして、1月頃に牟岐町の特産品をお送りさせていただきます」と抽象的で特典

し、地方の仕事の確保、地域活性化のためにも来年度からは、地域おこし協力隊の増員を行い、一人は空き家活用、もう一人は農業支援員を確保したいと考えています。

牟岐町の魅力が伝わるのか、や団体の名刺代わりのはずですが、今の状況では観覧者は町の魅力が伝わるのか、牟岐町HP製作、運営にかかる費用に対して、サービスの経済性・効率性・有効性はどのような状態と認識されていますか。製作会社・運営コストの状況は。

仁田総務課長

リンク先が存在しないものは削除するのを忘れていましたので、早急に対処いたしました。ふるさと納税については、町からのお礼と情報提供を主眼に置いていまして、写真は載せていません。HP情報の更新には、職員がしており、専任の担当者がいるわけではありません。今後は各担当課で情報の確認に努めるよう協議していきたいと思います。HP運営費は、負担金として平成27年度は、24万6千円の支出を予定しています。

福井町長

この夏に各種イベントが開催されましたが、各センターのイベント内容や参加人数はどうだったのか、また、センターの利用規定はどうなのか、それと、物産館を設けて活用してはどうか。

地域活性化センターの利用状況は**横尾政明議員**

牟岐町の製造業者の方々を応援するために、また、特産品を開発するためにも、物産館の設置は必要であると考えています。しかしながら、2年前に設置した物産館の苦い経験から、町内外の人が集まる場所に物産館を設置することが重要だと思思います。このことから、



河内地域活性化センターでの1日カフェ